第２回松江市中学校部活動地域展開推進協議会 会議録

１　日　時　令和８年１０月１９日（月）　１０時～１１時３０分

２　会　場　松江市役所本庁舎５階 第１常任委員会室

３　委　員　１２名中１０名出席

　　松江市　１６名中１５名出席

４　開　会

〇事務局

　ただいまより第２回松江市中学校部活動地域展開推進協議会を始めます。私は本日進行役を務めさせていただきます、松江市教育委員会学校教育課の福島と申します。どうぞよろしくお願いします。本日の出席者ですが、レジュメの２ページの方をご覧いただきますと名簿がございます。本日のところで、９番藤原委員さんから欠席連絡が入っております。そして１２番の上代委員さんも欠席ということでして、１２名の内、１０名の出席です。設置要綱第６条の２により、委員の過半数が出席のため、会議が成立いたしますことを報告いたします。

　はじめに資料の確認をします。本日お配りした資料は、次第、そして資料①として「中海圏域３校における合同練習会」について、資料②としまして「他市の状況について」ということでございます。足りない資料があれば申し出ていただければと思います。よろしいでしょうか。

　それでは、次第の２番。須﨑会長からご挨拶をお願いいたします。

〇須﨑会長

　委員の皆さん、お忙しいところをお集まりいただきまして、ありがとうございます。よろしくお願いいたします。それでは着座にて失礼させていただきます。今回、第２回推進協議会の運びとなっております。その中で今回は、中海圏域３校の合同練習会というところで、地域展開に向けての１つのモデル校になる取組ということで皆様方と共有しながら議論できればと思っております。また、その中で、鳥取市の方からの情報提供というところでの議論というところもできてきますので、その中でいかに市内の若いこどもたちがスポーツ、文化芸術活動に親しく活動ができていくか、そういったところについて、この推進協議会で検討できればと思っております。

　本日もよろしくお願いいたします。

〇事務局

須﨑会長、ありがとうございました。
それでは次に、次第の３番の報告に入ります。
ここからは須﨑会長に議長をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

〇須﨑会長

はい。それでは議事に入ります前に、本日の会議については、松江市情報公開条例及びそれに基づく審議会等の公開に関する要綱の規定により原則公開といたしますが、本日予定されている項目の中で特に非公開の基準に当てはまるようなものはございますか。

〇事務局

ありません。

〇須﨑会長

それでは、本日の会議については公開とさせていただきます。
では、議事に入ります。議題１について事務局より説明をお願いいたします。

〇事務局

失礼いたします。それでは、私、常松の方より報告の方をさせていただきたい思います。まず私の方から、中海圏域３校による合同部活動について説明をいたします。

資料１をご覧ください。
第１回の推進協議会でお伝えしておりましたように、本庄中学校、美保関中学校、八束学園の３校の野球部と吹奏楽部をモデルに、合同練習会を実施いたします。
第１回協議会後、３校の校長先生、部活動顧問等と協議の方を進めております。
で、今回は３校それぞれに部活動に所属する１、２年生の生徒を対象に実施を行うこととしております。そこの表の２番に書いておりますように、軟式野球部につきましては合計２２名の生徒を対象としており、吹奏楽部では本庄中学校の合奏部と合計し合計２８名の生徒を対象として実施する予定となっております。練習会場の方については、各部活動の顧問の先生とも協議をいたしました結果、野球部については、本

庄中学校、美保関中学校、八束学園のそれぞれのグラウンドを利用して１回ずつの実施という形で、吹奏楽部につきましては、美保関中学校と八束学園の音楽室をそれぞれ利用して実施する形となっております。

この合同部活動の指導者につきましては、まず野球部については、中海スピリッツの指導者を中心に指導の方を行っていただくような形を予定しております。また、吹奏楽部につきましては、元中学校教員であり、今現在、他校での部活動の地域指導者として登録しておられる先生に依頼をかけて、そちらの方に中心となって指導を行っていただくような形で計画を進めているところでございます。この実施にあたりまして、各学校の部活動の顧問の先生は実質的指導等は行わずに、引率の補助及び安全管理の補助という形で携わっていただくように依頼をしておるところでございます。

実施日につきましては、野球部は１２月５日を第１回として、１２月１９日を２回目、そして最終３回目を１月１６日、それぞれ各会場は資料のとおりになっております。また、吹奏楽部につきましては、八束学園と美保関中学校の音楽室を会場に計４回実施を予定しております。第１回、第２回は八束学園、第３回、第４回は美保関中学校をそれぞれ会場として行います。吹奏楽部の方につきましては、第１回は１１月２８日の土曜日、第２回が１月１６日の土曜日、第３回が２月６日の土曜日と、第４回最終が２月２７日の土曜日となっております。本来であればもう少し早い時期での開催も検討したんですけども、各校の部活動の予定等を合わせたところ、この日程になったというところで、若干スタートが遅れておりますが、特に吹奏楽部につきましては、最終が２月末というような形になっておりますが、合同練習会の方を進めていきたいと考えております。あわせまして、この合同練習会に参加した生徒および保護者、学校に対して、２月のところでアンケートの方を実施し、課題と効果の検証の方を行う予定としております。なお、先週のところで依頼文を配布し、参加申し込みの方を現在受付中というところになっております。

私の方からは以上です。

〇須崎会長

それでは、先ほどの説明がありました合同練習会につきまして、委員の皆様方からご質問等があればお願いいたします。

〇湯町委員

松江スポーツ協会　湯町です。お世話になっています。

今回モデル事業ということで、中海圏域の学校を対象として合同練習会を開催ということなんですけども、前回の推進協議会のときも、実情が地域によって全然異なるというふうなお話があったかと思います。このモデル事業に対して、いわゆる例えば

中心部、そういったところでのモデルとか事業、そういったものも考えておられるんでしょうか。

〇事務局

はい。今後そこにつきましても、検討していく予定にしております。まず、この小規模の学校をモデルとして、始めていきながら、中心部の方に拡大をしていこうという思いであります。進め方については今後学校とも検討していかないといけないかなとは考えております。

〇湯町委員

大体そのスケジュール感っていうのはどんな感じで考えておられるんでしょうか。

〇事務局

まず今年度はこの結果を基に、中海圏域での実施回数を増やしていく形は検討しております。モデルとして同じような同規模のようなところで、同じようなことができるかっていう部分は今後検証していく必要があると考えています。中心部につきましては、早くても再来年度以降のところの展開になってくると想定しております。

〇湯町委員

はい、わかりました。

〇岸本委員

スポルティボの岸本です。野球の方ですけども、３ヶ月というのは非常に貴重な３ヶ月だと思うんですけど、１２月というのは、この辺、最悪の場合は雨の天候の場合があります。で、グラウンドというふうになってます。せっかく３回、実践的なことをやることを考えると、雨天の場合は、それでもできるような会場も検討していただくと、より結果が出やすいように思います。

スプリッツですけど、これスポ少の団体です。スポ少登録と連盟登録と合わせますと、今、松江市内に１９のスポーツ少年団があります。スポーツ少年団、小学生のやつですけども、それを母体にして中学校をモデルケースでやっているところは、そのスポーツ少年団の連盟の中で、いろいろないいところ、悪いところ、必要なところが

出てくると思いますので、そういったことも検証していただければというふうに思っております。

〇事務局

ありがとうございます。雨天のところにつきましては、各中学校の体育館が使用できれば、そちらで合同のトレーニング、ないし、交流的な形もできるといいなというところで顧問の先生とも話をしておりますので、また雨天のところの校庭の対応につきましては、今後指導者の方とも進めていきたいと思っております。

〇須﨑会長

はい。委員の皆様、ご質問いかがでしょうか。

〇原田委員

ＰＴＡ連合会、原田です。私、バスケットボールクラブの運営もしておりますので、その点からちょっとご質問ですけど、まず、三回、四回と限られた回数ですので、どの程度まで検証できるのかっていうところを最初に押さえておいた方がいいかなと思います。例えば、施設を押さえるところから、本来はやらないといけないわけで、それから保護者への連絡などいろいろと多岐にわたるわけで、その辺、細かいところですね、例えば雨が降ったら、その体育館の鍵をどうするかとかですね。移動の話とかは先ほどされませんでしたが、保護者の移動になるのかというところですね。今回は、顧問の先生が運営と引率の補助をされるということですけど、それが離れた時にどうなるかというところまで、細かく検証していただけるといいかなと思います。以上です。

〇事務局

ありがとうございました。

先ほど質問がありました当日の会場への送迎は、今回は基本的に保護者送迎の方を依頼をしております。

〇須﨑会長

はい、ありがとうございます。
それに合わせて私の方から確認ですけども、ここでいう具体的な効果、課題といったところ、具体的に何を検証し、何で効果があった、なかったか、そのところはどういうふうに評価されていくかっていうのをちょっと教えていただければと思います。

〇事務局

まずは、この合同練習会を計画した時に、今計画では全部員の方の保護者さんに対しては依頼をかけていますが、何人の部員の参加が見られるのかが一つの検証項目になります。また、参加を希望しなかった場合の理由について、移動のことが難しいであるとか、いろんな意見も出てくるかなと思うので、合同部活動を実施する際の課題っていうところがまず明らかになると考えております。合同部活動を実施するにあたって、先ほど言われましたような施設の会場であるとか管理っていうのが出てくるとは思うんですけども、今回まだ部活動の合同練習会という形なので、顧問の先生にも携わっていただくんですけども、今後それを合同部活動から地域展開していく上でどのような課題が出てくるかっていうのは、今後検討していきたいと思っております。。

〇須﨑会長

はい、ありがとうございます。
他に委員の皆さんからいかがでしょうか？
文化芸術の観点からちょっとご意見いただければと思います。いかがでしょうか。

〇竹内委員

プラバホールの竹内でございます。
今、移動は保護者が送迎ということだったんですけども、吹奏楽の場合、楽器等の移動が発生するのかどうか、もしするとしたらどうするかをちょっと教えていただけますでしょうか。

〇事務局

はい。楽器につきましても、基本、生徒が持ち運べるようなものに関しては、生徒に一緒に保護者送迎に合わせて持っていってもらうんですけど、大きい楽器につきま

しては、先ほど言いましたように、顧問の先生の協力を得まして、顧問の先生に楽器を運んでいただくように依頼しております。現在のところ、各学校の方に対して、現有している吹奏楽の楽器の調査の方も、この３校については併せて行っていますので、今後その管理の仕方についても検討していかないといけないのかなというふうに考えております。

〇竹内委員

ありがとうございます。

〇須﨑会長

はい。他に委員の皆さん、ご意見いかがでしょうか。

また、私の方から質問させていただきたいんですけども、これ実際に、いろんな手続きを、学校に行って、顧問の先生とか保護者の方に対応されてますが、事務局の方が対応されてるかと思うんですけども、大体どれぐらいの人数で、どれぐらいの時間をかけて、今、ここまできているのかというのをちょっと教えていただけますか。

〇事務局

事務局といたしましては、私と部活動地域コーディネーターを中心に進めております。学校に対しては、校長先生方に説明会を１回、学校の顧問の先生を対象に情報交換会を行い、その後は、メール等のやりとりで様々な相談を各顧問の先生に行っています。７月末から約２ヶ月で準備をして、あとは指導者の方との調整を行って、今現在迎えております。

〇須﨑会長

はい、ありがとうございます。まあこういったところを考えていくと、実際いつも連絡をされてるとか、いろんな取り組みをされてるかと思うんですけども、これから、例えば、野球と、吹奏楽合奏部という形の２つの活動になってるんですけど、それを例えば、８年度以降広げていくとか、もしくは回数増やしていく、いずれまた顧問の先生がいないという形になった時に誰がコーディネートしていくのか、そういったところも検討していただければいいのかな。まあそういったところがないと、ずっ

と事務局が抱えていくものになっていくのか、もしくは例えば中心になった時に、それは本当に可能かといったところも併せて検討いただければと思います。

〇事務局

わかりました。ありがとうございます。

〇須﨑会長

はい、他に議員の皆様方からご意見いかがでしょうか。
それでは無いようでしたら、先の方に進めさせていただきたいと思います。
それでは議題２について、事務局より説明をお願いいたします。

〇事務局

続けて失礼いたします。
資料２の方をご覧ください。
今後、松江市として部活動の地域展開を推進していくにあたり、やはり指導体制の整備でありますとか、各種課題の対応に向けた参考にするためというところで、先進地域への視察を今年度より行なっております。８月のところで、本日報告いたします鳥取市の方に、視察の方に出かけさせていただきました。また先週のところで香川県の高松市と、兵庫県の宝塚市の方にでかけております。高松と宝塚の方についての報告は次、第３回のところでさせていただきたいと思っておりますが、概要的な説明をしておきますと、まず鳥取市は、松江市と同じように休日の地域展開を目指している市でして、来年度の４月からも休日の部活動はすべて行わないという方針を出しておらます。高松市と宝塚市は、もう平日、休日とも部活動を行わず、それぞれ地域クラブに移行をしていく方針を示しておられ、高松市の方は来年の９月から、宝塚の方は今年の９月以降順次部活動を廃止し、地域展開の方を行っている自治体でございます。３市それぞれの自治体、取り組み方がことなっており、松江市として参考となる点については今後取り入れて行きたいと考えております。それでは資料２の方を改めてご覧いただきますようにお願いいたします。

まず、鳥取市の概要ですが、鳥取市の方は中学校が１３校、義務教育学校４校で合わせて、生徒数が約４，８６０名というところで、学校規模的には松江市とほぼ同規模になっておりますが、部活動数の方が約２３０部となっており、松江市と比較すると部活動数は鳥取市の方が多いという現状でございます。

地域連携については部活動指導員や外部指導者などを１１６名配置しておりまして、ほぼ半分の部活動に、地域指導者ないしは部活動指導員等が関わっておられる状況でございます。さらに今年度、地域展開というところで３クラブが先行的に動いておりまして、保護者主体の認定クラブが２つ、総合型地域スポーツクラブから派生したものが１つというところが、実際にもう動いているところでございます。鳥取市については、令和３年の２月より、部活動改革委員会を発足いたしまして、休日の部活動地域展開についての協議を進めており、令和９年４月より、休日の部活動をなくして、認定を受けた地域クラブ活動、鳥取市休日クラブに移行することとしております。鳥取市休日クラブですが、各学校の部活動改革協議会の協議を経て、その各学校がその学校にある部活動のうち地域展開できる部活動を検討していただいたものを、教育委員会に学校が推薦を行う。そして、学校から推薦を受けたそのクラブを鳥取市教育委員会が認定をしていくという形を取っております。言うなれば、今ある部活動をベースに、休日は代表者と指導者をそれぞれ地域指導、保護者代表であったり、外部人材から任命し、指導の方も外部指導者の方が行う、あるいは、平日見ている部活動の先生が兼職兼業という形を取って、その部活動にも指導に当たっていくという形を取っておられます。この地域クラブに関わる費用については、指導者報酬を全て市が負担し、保護者の負担はスポーツ安全保険のみとなっております。移動等の補助については、今のところ検討しておらず、指導者の報酬を補助することによって、保護者の負担の軽減を目指していくという方向で取り組んでおられます。庁内体制では、令和５年度より部活動地域移行の統括コーディネーターの方を１名設置をいたしまして、さらに市内の中学校と義務教育学校へそれぞれ地域コーディネーターを１名ずつ配置して、地域展開に向けた体制作りを進めています。それぞれ地域コーディネーターの方が、各学校の協議会の準備ですとか、あるいは部活動に関わる指導者の配置等について情報収集を行っております。令和６年度以降は、この統括コーディネーターをさらに１名増員して、今、鳥取市としては統括コーディネーターが２名という形で配置しております。そして、教育委員会内の事務局の体制としては、推進室等はできてないんですけども、兼務でそれぞれ学校教育課と生涯スポーツ課、生涯学習スポーツ課から３名配置している状況です。鳥取市も受け皿となる団体やクラブ等が現状少ない中で、休日の部活動を地域クラブ等に展開していく枠組みとして、今ある部活動っていうのを活用していくっていうのは１つの選択肢になると感じました。鳥取市の報告は以上です。

○須崎会長

はい。それでは、先ほど説明にありましたが、他市の取組状況について、委員の皆様方からご質問等があればお願いいたします。

〇松本委員

私の方の文化部の該当ということで、今の鳥取市の事例の中で、いわゆる、松江市の美術部の、あるいは、工芸部の子どもが結構な人数を占めていますが、それに該当するような部活動、そういったところのことは把握されてますでしょうか。わかれば教えてください。

〇事務局

現時点では、先ほど言った部活動指導員等につきましては、文化部ではもう１６校ですね、３８名配置されているので、吹奏楽部であったり、そういうところに対してはそれ相応の人数が入ってるかなと思うんですが、詳しい鳥取市の部活動の数っていうところは把握できておりません。

〇松本委員

今後ですね、松江市の方も、こんな人数がいる美術部あるいは工芸部の子どもたちが、今後も続くと思うんですけど、これからどういうふうに、指導者を配置されるのか、それぞれの地域の中からそういった方を選出してお願いするのか、そういったところの方向性、そういったものとかも含めて、今の鳥取の事例も参考にしながら進めていっていただけたらと思います。今も、吹奏楽、野球部とか、ちょっと言い方は悪いんですけど、分かりやすい団体の指導者の方々いらっしゃるので、わかりやすいんですけど、今の文化部の美術のあるいは工芸の子どもたちに、今後どういうふうに展開していくのかといったところをまた、松江市の今後の、これからのステップをどうしていくのかということをまた考えていただいてよろしくお願いしたいと思います。

〇須﨑会長

はい。今、松本委員からご提案があったように、まあ鳥取市の文化芸術活動について、どういう形で取り組みされているかといったところの情報を収集していただければと思います。そういったところをまたこの推進会議で報告していただければと思います。

他に委員の皆様、ご意見、ご質問いかがでしょうか。

〇上田委員

失礼します。松江市中体連会長上田です。よろしくお願いいたします。

私の中のイメージでも、この鳥取市スタイルが多分松江に一番マッチングするんだろうなと、昨年度この会に参加していた時から思っていました。島根大学の附属義務教育学校が３０年ぐらい前からこのスタイルをずっと進めていて、平日は部活動、土日はサークル活動ということで、独自のスタイルで、ＰＴＡの副会長さんが運営協議会の会長さんみたいな立場になって、あとは各部の保護者代表が、まあ、ここでいういわゆるコーディネーター的な役を担って回しているっていうのをずっとやっていて、私もそこでの勤務が長かったので、最初はいろいろあったんですけど、やりながら、指導者もうまく取り込んだり、教員で「そのまま土日の指導していいよ」っていうものはそっちへ移行してっていうやり方をやっていたので、自分の中ではあまり違和感はないかな、このやり方、っていうふうには思っています。その代わり、ちょっと今回、その地域展開というのを考えたときに、この鳥取市休日クラブっていうものに、まあ、ぽこって移行していくんだと思うんですけど、この運営の主体は誰になるか。市教委さんの中で、そういう部署なりなんなりがあって、そこが運営の主体か、学校が運営の主体になることはできないので、運営の主体がどこになっていくのかなっていうところと、それから、地域移行のコーディネーターさん、これが松江だったらどんな立場の方がされるのかな。教員が兼業的にやるポジションなのか。結局部活動の回し方であったり、実情であったり、そういったものがわかる人でないと、なかなかここも回せないだろうなと思ったときに、よくわからないけどやりますよっていう人ではちょっと難しいんじゃないのかなと思ったときに、その辺をうまくイメージしてもらって具体化してもらうと、そんなに難しいやり方ではないんじゃないのかなっていうふうに、見させていただいたときに思いました。

〇事務局

ありがとうございます。

先ほどあったコーディネーターについてなんですけども、鳥取市の統括コーディネーターにつきましては、中体連の会長をしておられた方が統括コーディネーターになっております。地域コーディネーターさんについても、やはり元教員の先生もおられますし、地域の方もおられると聞いております。

先ほどのクラブの運営者の責任というところなんですけども、あくまで教育委員会の方は、各学校から推薦があったところを認定クラブとして認定はするけれども、運営主体につきましては、その各クラブの代表者になるのかなと思っております。実施と運営はその各クラブにお任せをして、その認定の仕組みを認定することによって、市がその先ほど言った費用の補助の方を認定クラブに対しては行っていくと考えられます。

〇須崎会長

　では、小室委員、よろしいでしょうか。

〇小室委員

　すみません。ちょっとまとまりきらずに質問をしてしまうかもしれません。
　松江市教育研究会中学校部局音楽部の小室です。
　今、鳥取市の展開の状況をお知らせいただいて、それから松江市が今行っている行動の形のモデルを展開ですよね。これが、両方が走るっていう言い方をするとおわかりいただけるかわかりませんが。鳥取は、松江市が今モデルでやっているような、例えば同じ規模の学校を合わせて展開しておられる例は、ここの中には１つもないのかどうかっていうことと、もう１つ質問としては、例えばその、行政が全て市で報酬の方を見ていただいてるっていうお話があったんですけども、例えば将来的に松江市がそのようなことをする場合に、やはり前の年に予算立てというようなところが出てくるとなると、どのぐらいのものが必要ですか、いくらぐらい必要ですか、ということを、各学校の、何と言いますか、実施主体者になるのでしょうか？のところに、調査なりが入り、お願いをし、全ては多分賄えないと思うのでこのぐらいで運営してくださいというような、お返事があってという運営になるのかなと思うとですね、ちょっと見通しがなかなか立ちづらくて、本当に、その展開する、鳥取市のいうところの、学校の地域休日クラブ、っていうところのですね、回していかれる方っていうのは結構大変なのかなというふうなイメージを持ったもので、鳥取さんがどのようにしておられるかも、お知りになってらっしゃったら教えていただきたい。

〇事務局

　はい。鳥取市の方もまだ今年度は動いてなくて、来年度から動くっていうところで、今後、予算がどれぐらいになっていくのか確認したいと思っております。

〇小室委員

　そうすると、鳥取さんの方も、中海圏域のような形は想定はしておられるんですか？

〇事務局

　合同的な形で、１つのクラブとしては想定はしておられるようです。

〇小室委員

ありがとうございました。

〇須﨑会長

他に委員の皆様方からご質問、ご意見いかがでしょうか？

〇原田委員

ＰＴＡ連合会の原田です。鳥取市のことなので、わかる範囲で教えていただきたいんですけど、三点ほど。

１つが、この認定制ですか。これが、学校を起点として移した制度設計になってると思うんですけど、すでにその地域で活動しているクラブがどのように位置付けられているかっていうところを、わかる範囲でお願いします。それから、先ほどありましたけど、２つ目が、部活動が２３０部あって、選考認定が３クラブということで、ただ、もう来年度から全面移行ということですよね。これ、残りの部活動の受け皿がどの程度確保されているかっていうところと、受け皿が確保できない種目についてどういうふうに対応する予定なのか。さすがにそこまでは決まってるんじゃないかなと思うんですけど、わかる範囲でお願いします。それから最後に、指導者謝金を市が負担するっていうのは、ＰＴＡとしての保護者負担の軽減という意味で、本当に参考になるなと思いましたけど、一方で、クラブの代表者が保護者会等から選出するということになってまして、おそらく運営そのものは保護者に委ねられる部分も多いんじゃないかなと思います。この辺の、運営面での保護者負担について、どういった対策を講じられる予定なのかっていうのを、視察で確認されていれば教えていただきたいと思います。よろしくお願いします。

〇事務局

はい。先ほどあった質問なんですけども、実際その運営面での補助とかはどういうふうな形でっていう点については把握できておりません。今現在先行しているところが３クラブあるんですけども、保護者主体の認定クラブっていうのが、陸上とバドミントンで２クラブ。総合型地域スポーツクラブから派生した認定クラブとして、ソフトテニスが１クラブございます。

〇須﨑会長

原田委員、よろしいでしょうか。

〇原田委員

ありがとうございました。

〇須﨑会長

はい。原田委員からご質問がありましたように、今後、実際に運営ということが始まっていきますので、その中でまた情報収集に努めていただきまして、またこの推進協議会で情報提供していただければと思います。

そうしましたら、青山委員、何かご意見、ご質問、いかがでしょうか。

〇青山委員

今年ですね、全中の大会が中国地方でありまして、松江市でも野球やテニス、バスケットボールの開催をしたところです。鳥取さんの場合だと、学校でやってる部活を休日もそのままやって、多分そのまま大会に参加できる、そういうふうな利点があるのかなというふうに思っていますが、前回も話しましたけども、まあ子どもたちは、平日やってる部活を休日もそのまま続けて、同じメンバーでそのまま大会に出よう、そういうふうな意識を持ってるのがほとんどじゃないかなというふうに思っています。一方ですね、山口なんかの話を聞くと、学校が部活の運営から少しずつ離れていくと、大会の運営とかが非常に厳しくなってきている。今年の夏の全中もですね、各学校も先生方がものすごく、お盆休みもなく、ずーっと一週間ぐらいずっと出ていて成り立っているということなので、今後そういった大会運営面だとか、そういったようなこととかも考えていかないといけないかなあと思ってます。例えば、保護者の方に運営まで、いろんな大会の運営までお願いしますというのは、なかなか現実的じゃないのかなあというふうに思ったりしていますので、将来的にも、松江市が例えば鳥取市に近いスタイルをもし取られるということであれば、移行は割とできやすいのかなというふうに思っていますけれども、そういった大会運営面だとか、そういったようなことを、私たちとしても考えていかないといけないのかなというふうなことを感じています。質問というよりかは感想でした。以上です。

〇須﨑会長

ありがとうございます。その点について、上田委員いかがでしょうか。ご意見をいただければと思います。

〇上田委員

はい、失礼します。中体連の方も、まあ日本中体連の方が今年度もって、三巡目ですか、終了して、来年度からちょっとずつ種目もなくなったり、全国大会もですね、というところで、ちょっと形が変わっていくところが始まっていくのかなというふうに思っています。来年度が、近畿ブロックでの全国大会ということで、先ほど話題の宝塚市もありますし、神戸市に至っては、もう今年度から部活動廃止っていうところで、先ほど、青山先生がおっしゃったように、その教員の動員ですね、役員っていったところで、やや苦慮しておられるなっていう話は実際に聞いています。土日にその大会を持ってくると、結局、一般の先生方はなかなか出張の派遣が、管理職としてはしにくいってなると、平日の全国大会開催ということがベースになってきます。そうなると、一般の人が今度は逆に役員として動員がかけにくいといったところで、全国大会の運営の仕方についても、ちょっとずつこうスタイルを変えて、持続可能な大会を進めていかないといけないというふうに全国で問題は出てきています。同じように考えていくと、県内の大会については、このスタイル、鳥取県スタイルのようなスタイルが継続していくと、役員が全然いなくて困るっていうことはなくなるとは思いますが、「自分はもう携わりません」という教員も出てくる、となった時には、やはり規模縮小っていうのも中大連では考えていかないといけないなという話はしております。先ほど、保護者に手伝ってもらうのもなっていう話も出ましたけど、実際私も、かつての全国大会などでは、どうしても公共の手が足らなければ、駐車場の係であったりとか、受付接待とか、そういったところを保護者ボランティアをお願いをして運営したりしたこともなくはないんですが、やはりそこには普段からの保護者との良好な関係であったりとか、信頼関係であったりとか、そういった大会を運営するにあたってのその理解を、子どもや教員だけではなくて、共に歩んでいく保護者さんであったり、そういったところから、いい関係を作っていくっていうことは大事なので、この地域展開を進めるにあたっても、やはり気持ちの中には「先生たちが指導したくないんでしょ」とか、正直そんな風に思っておられる方もいらっしゃらないわけではないんだろうなと思った時には、やはりそうではなくてっていう、みんながこう幸せにするためにはではないですけど、そういったところの気持ちっていうのは、やっぱりちゃんと理解していただいた上での地域展開っていうのは必要ではないかなっていうふうに思っています。以上です。

〇須﨑会長

ありがとうございます。他に委員の皆様方からのご意見ご質問いかがでしょうか。

そうしましたら、議題１と議題２が終わってまして、それぞれご意見、ご質問があればうかがいますが、いかがでしょうか。

無いようでしたら、今日のまとめの方だけさせていただきたいと思います。

今回、松江市の合同練習会の取組状況と近隣の鳥取市の地域展開に向けての話をさせていただきました。その中で、いかに、まずは合同練習会に向けてどういうふうな効果検証を進めていくのか。また、今後そういったところが松江市市内とかにどういうふうに発展していくのか、といったところが協議されたと思います。また、鳥取市の中で実際運用が始まっておりますので、その中での情報共有といったところは今後また努めていただければと思っております。そういうことになりますので、今後鳥取市の方でいろんな動きが出てきましたら、この推進協議会の中でもご報告いただけたらと思っております。

以上で協議は終わりますが、全体を通して何かご意見、ご質問いかがでしょうか。

無いようでしたら、以上で議事を終了いたします。ありがとうございました。

〇事務局

須﨑会長様、ありがとうございました。
本日の推進協議会では、先ほどまとめていただきましたけれども、まずは、合同部活動について、どのように効果検証していくのか、その具体を明確にしながらやっていくということ。そして、それをどう中心部の合同部活動に向けていくのか、スケジュール感も含めて取り組んでいくこと、ということと、それから具体として部活動地域展開を進めるにあたって、他自治体での情報収集をしっかりとやって取り組んでいくということ、というご意見をいただきました。いただいた意見を参考にしながら、今後も引き続き取り組んでいきたいと思います。

続きまして、次第４の講演に移りたいと思います。準備いたしますので、しばらくお待ちください。

【講演「これまでの部活動とこれからの部活動」】

〇事務局

須﨑先生、どうもありがとうございました。

では、閉会の方に移ってまいります。
次回の推進協議会につきましては、２月を予定しております。詳しくは後日お知らせいたします。

最後に、青山副会長さんにご挨拶をいただきます。

〇青山副会長

失礼します。中学校長会長の青山でございます。今日は、須崎先生の方から、部活動を取り巻く現状、課題、今後の展開の方向性について詳しく話していただきました。大変ありがとうございました。その中で、子どもたちがどのような意識をもっているか、子どもたちの意見を大切にしていってほしいという話が出ましたけれども、松江市教育委員会さんとしてもですね、子どもたちのアンケートを取っておりまして、先週のところで本校も時間を取ってやったんですけども、多分次回のところではですね、子どもたちがどういう意識をもっているかというふうなですね、大まかな意識が出てくるんじゃないかなというふうに思っています。いずれにしてもですね、今まで部活動が担ってきたいろいろな価値があると思いますけれども、そういった価値をなるべく残しつつも、学校としては教職員の負担も軽減していかなければいけませんし、将来の子どもたちを、地域全体で支えていくというのがですね、この部活動の地域転換の大きな枠組みじゃないかなというふうに思っています。そういった中で、今日参加していただいている皆様のご英知とご経験を生かしてですね、できるだけ子どもたちにとっていい環境が整っていけばいいかなというふうに思っていますので、今後ともご協力の方よろしくお願いします。

今日はありがとうございました。

〇事務局

ありがとうございました。 以上をもちまして、第２回松江市中学校部活動地域展開推進協議会を閉会いたします。

皆様、本日はお忙しい中、ありがとうございました。